



枕崎市立図書館 リニューアルオープン

皆さんに喜んで もらえる図書館へ

皆さんに優しく、利用しやすい施設整備

今回の改修工事の大きなポイントとして、図書館のバリアフリー化があります。

1階と2階のトイレは新しくなり、これまでの和式トイレから洋式トイレにリニューアルされました。また、倉庫として利用していたスペースを廃止し、これまでなかった多目的トイレが1階と2階に設置され、車椅子の方や小さい子ども連れの方にとっても利用しやすくなっています。

1階から2階にかけてはエレベーターが設置され、階段を上り下りすることへの負担がなくなりました。



新しく設置されたエレベーター



洋式トイレ

多目的トイレ

**明るく解放感あふれる
広々とした空間**



一般閲覧室(1階フロアー)

今回の改修工事により、床や壁、階段を白を基調としたデザインに変更しました。また、蛍光灯をLED照明に変えたことで、館内全体が明るい雰囲気となり、蛍光灯の紫外線による本の劣化も防ぐことができます。

本棚はこれまで使用していたものに加え、いただいた寄附金で新しく購入したものを設置しています。棚と棚の間隔を広くとり、あえて椅子などを置かないことで、車椅子の方でも移動しやすい、広々とした空間となっています。

2階の児童閲覧室は、高さの低い本棚を設置することで、全体的に見通しが良くなっており、音読塾やファーストブック講座などが開催できるよう、イベントスペースも設けています。



児童閲覧室(2階フロアー)

スペースを有効活用

図書館を訪れた利用者からは「本が少なくなったのでは」と尋ねられるそうですが、実際はあまり利用のない本を書庫に収納し、データで本を管理することによって、スペースを有効に活用しています。

それぞれの階には洗面所が設けられ、いつでも手指を清潔に保つことができます。また、所々に設置している観葉植物は、リラックス効果や癒しの効果をもたらしています。1階には雑誌専用のスペースが、3階にはちよつとしたカウンタースペースも設置され、今までとは違った雰囲気味わうことができます。



昨年7月から改修工事が行われていた枕崎市立図書館の工事が完了し、今年の4月1日からリニューアルオープンしました。今回の特集では、新しく生まれ変わった枕崎市立図書館を紹介します。

老朽化が進む図書館の改修

枕崎市立図書館は、昭和53年に現在の位置に建設され、以来、市民の皆さんや市外の方も含め、多くの方に利用されています。

平成25年度からは、開館日の増加や機能の充実など、利用者へのサービス向上を図ろうと管理運営をNPO法人へ委託し、子供読書活動をはじめとする読書普及活動も推進しています。その結果、文部科学大臣表彰などの賞を受賞し、その活動が評価されてきました。

しかし、開館から約40年が経過した図書館は、雨漏りによる壁や本棚の腐食、トイレの老朽化など、さまざまな問題が発生していました。今回、利用者の皆さんにとって、より利用しやすい図書館にするため、改修工事が行われました。



▲リニューアル前の図書館

図書館を訪れた利用者の声

小学校に通う息子の図書館見学をきっかけに、南薩地域地場産業振興センターに移設されていた図書館に通うようになりました。リニューアルオープンを楽しみにしていて、実際に図書館を訪れてびっくりしました。

トイレもきれいになっていて、小さい子がいる時は多目的トイレはありがたいと思います。2階も広くなって見やすくなり、図書館が明るくなったと感じました。



図書館利用者の田畑さん家族